

平成 26 年度

野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備調査事業
(九州中央山地地域)

報 告 書

平成 27 年 3 月

九 州 森 林 管 理 局

目 次

第1章 事業概要

1-1 事業目的	1
1-2 事業実施地域	1
1-3 事業実施期間	2
1-4 事業実施方針	3
1-5 事業実施フロー	3

第2章 事業内容

2-1 生息密度調査	5
2-1-1 糞粒法による生息密度調査	5
2-1-2 継続調査地域における生息密度の推移	31
2-1-3 各調査地域における生息個体数推定	60
2-2 植生被害レベル調査	68
2-2-1 植生被害レベル調査	68
2-2-2 シカの生息密度と植生被害レベルの相関	75
2-2-3 シカ被害レベル判定シート(簡易版)の検証	84
2-3 シカの移動状況等調査	88
2-3-1 GPS テレメトリー法による調査分析	88
2-3-2 高頻度利用地における現地調査	115
2-4 植生の保護・再生手法の検討	132
2-4-1 保護対象種の生育・再生状況の確認調査及び検討	132
2-4-2 植生保護柵の保守点検結果	144
2-5 地元市町村、猟友会等とのシカ被害及びその対策に関する情報の収集・交換	146
2-5-1 意見交換会・学習会による情報の収集・交換	146
2-5-2 アンケート調査による情報収集	150
2-6 パンフレットの作成	171
2-7 セミナーの開催	176
2-8 検討委員会の設置、開催	185
引用文献・参考文献	188

第1章 事業概要

1-1 事業目的

本事業の目的は以下のとおりである。

九州中央山地、祖母・傾山系、霧島山系等（以下、「九州中央山地等地域」という。）の森林地帯においては、ニホンジカ（以下、「シカ」という。）によって、林内の低木・草本類などの下層植生が食害を受けるとともに、中・上層木においても剥皮被害が増加している。その被害は人工林のみならず天然林にも及んでおり、九州中央山地等地域の森林が有する種の多様性の低下や希少種の絶滅といった事態を招きかねない現状にある。また、これら被害による森林の劣化により土砂流出等の危険性も高まるなど国土保全の観点からも大きな問題となってきた。

このため、九州中央山地等地域において、シカによる林業被害の防止と森林環境への悪影響を及ぼす以前の環境への回復と維持を図るため、効果的なシカ被害対策が急務となっている。

このことから、九州中央山地等地域の森林（人工林、天然林）において、シカの個体数管理のために、シカによる被害状況やシカの生息・移動状況等の把握・分析、被害管理のために、植生の保護及び再生手法の検討を行うとともに、情報の発信・共有化などシカに関する調査・検討等を行う。

1-2 事業実施地域

本事業における事業実施地域は表 1-2-1 及び図 1-2-1 のとおりである。

また、植生の保護・再生手法の検討における調査箇所を図 1-2-2 に示す。

表 1-2-1 事業実施地域

実施地域	森林管理署等
①祖母傾地域(祖母山地区)	大分署 宮崎北部署
②祖母傾地域(佐伯地区)	大分署
③向坂山地	熊本署 宮崎北部署
④霧島山地(西岳地区)	都城支署
⑤霧島山地(上床地区)	都城支署 鹿児島署
⑥八重山地(旧鹿児島地域)	北薩署 鹿児島署
⑦大矢国有林	熊本署
⑧大洞国有林	北薩署
⑨永尾国有林	鹿児島署

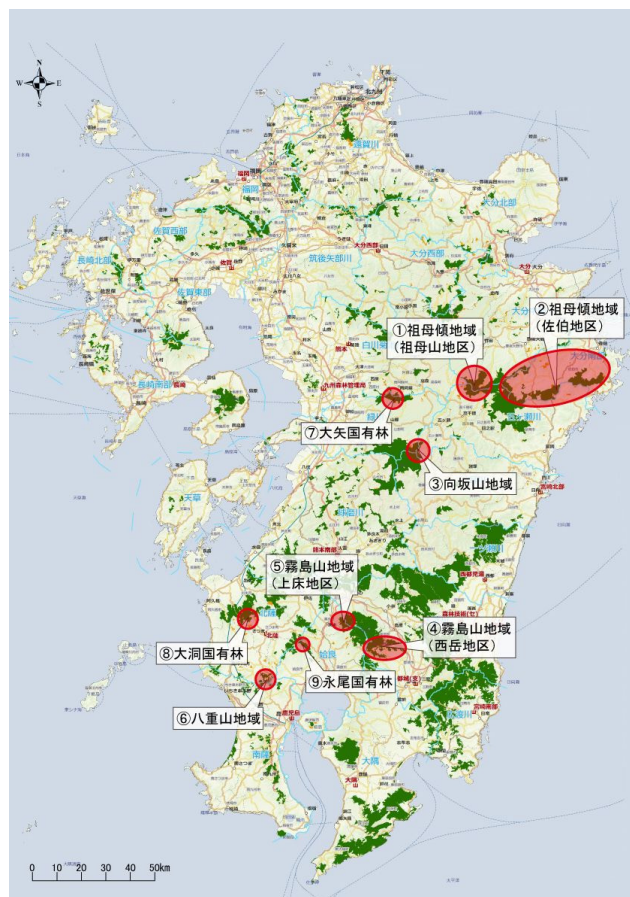
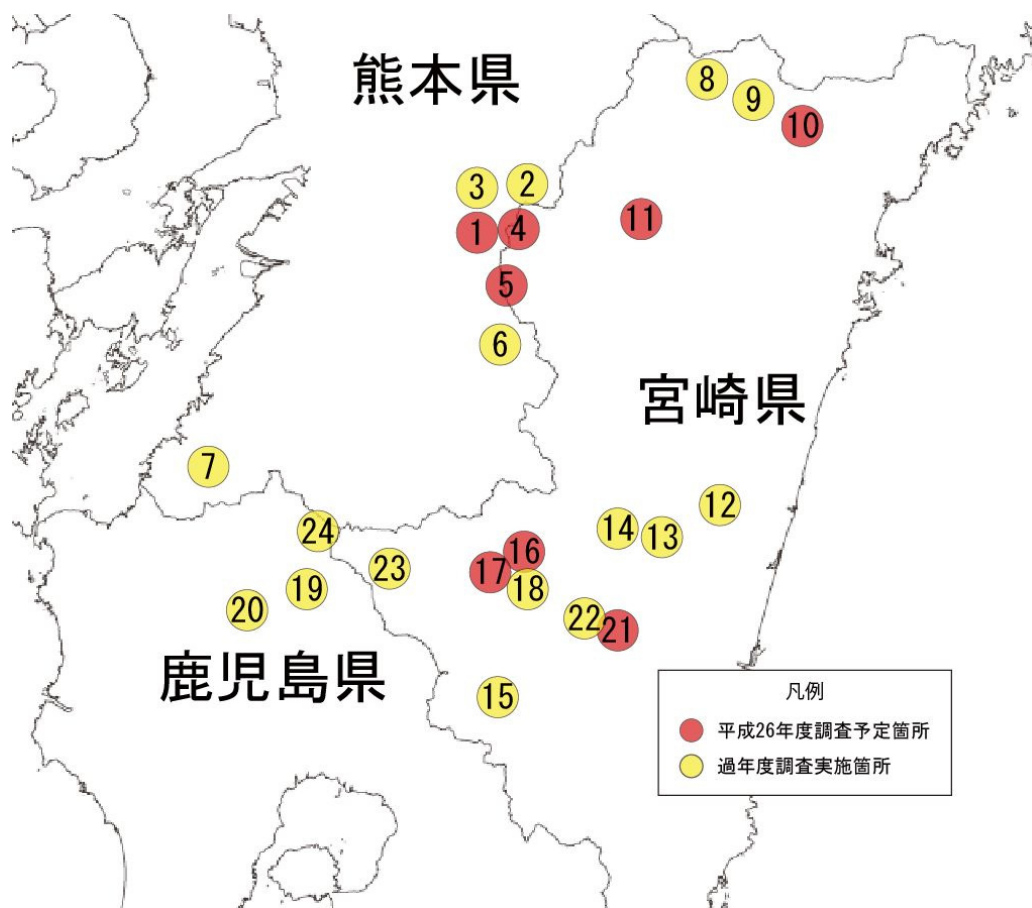


図 1-2-1 事業実施地域位置



No.	地点名	市町村	森林管理署等	No.	地点名	市町村	森林管理署等
1	京文山	美里町	熊本署	13	大森岳2092	綾町	宮崎署
2	天主山	山都町	熊本署	14	大森岳2049	綾町	宮崎署
3	目丸山	山都町	熊本署	15	小池	都城市	都城支署
4	向坂山	山都町	熊本署	16	鉄山万年青平	えびの市	都城支署
5	国見岳	八代市 椎葉村	熊本南部署 宮崎北部署	17	鉄山入口	えびの市	都城支署
6	白鳥山	八代市	熊本南部署	18	小ヶ倉谷	えびの市	都城支署
7	水俣市	水俣市	熊本南部署	19	出水市	出水市	北薩署
8	障子岳	高千穂町	宮崎北部署	20	さつま町	さつま町	北薩署
9	洞岳	日之影町	宮崎北部署	21	大平2003	小林市	都城支署
10	鬼の目山	延岡市	宮崎北部署	22	大平2006	小林市	都城支署
11	諸塚村	諸塚村	宮崎北部署	23	甕岳	えびの市	都城支署
12	上面木山湿地	川南町	西都児湯署	24	えびの市境	伊佐市	北薩署

図 1-2-2 植生の保護・再生手法の検討における調査箇所

1-3 事業実施期間

本事業における実施期間は以下のとおりである。

自：平成 26 年 8 月 8 日

至：平成 27 年 3 月 10 日

1-4 事業実施方針

本事業は、「平成 26 年度野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備調査事業（九州中央山地地域）委託事業計画書」の事業実施方針に基づき実施する。

1-5 事業実施フロー

本事業の実施フローを図 1-5-1 に示す。また、各調査の実施地域を表 1-5-1 に示す。

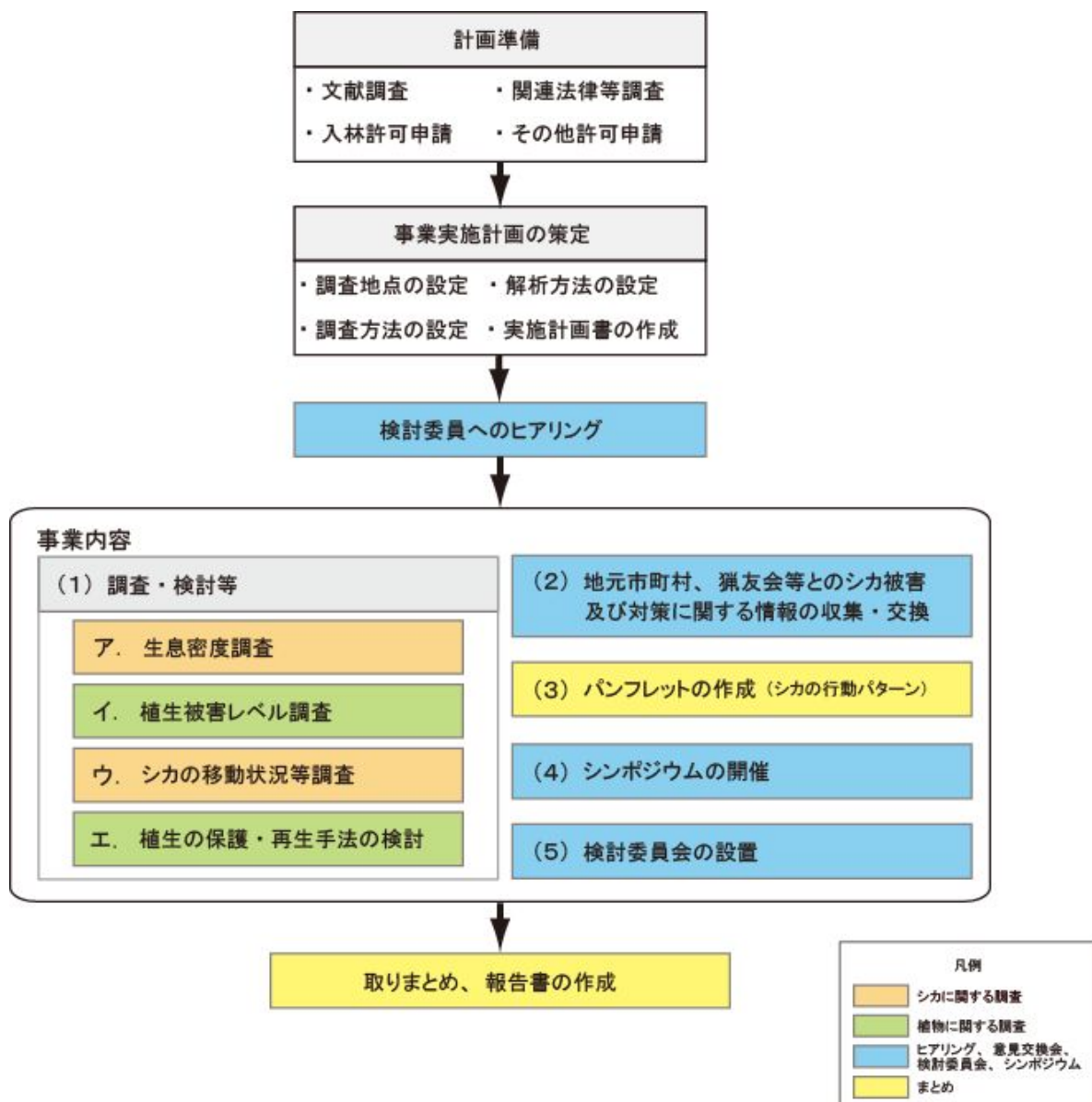


図 1-5-1 事業実施フロー

表 1-5-1 各調査の実施地域

各調査の実施地域

調査項目		①祖母傾地域 (祖母山地区)	②祖母傾地域 (佐伯地区)	③向坂山地域	④霧島山地域 (西岳地区)	⑤霧島山地域 (上床地区)	⑥八重山地域	⑦大矢国山林	⑧大洞国山林	⑨永尾国山林	植生保護柵 調査 8箇所
(1) 調査・ 検討	ア 生息密度調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	イ 植生被害レベル調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ウ シカの移動状況等調査	○						○	○		
	エ 植生の保護・再生手法の検討										○ ①④⑤⑩ ⑪⑬⑰⑱
(2)	地元市町村、猟友会等とのシカ被害及び その対策に関する情報の収集・交換	調査地域周辺の各自治体や各猟友会支部への聞き取り調査、意見交換会等の開催									
(3)	パンフレットの作成(シカの行動パターン)	平成25年度作成した行動パターン等報告書を基にパンフレットを作成									
(4)	セミナーの開催	大分県竹田市久住町 久住公民館大ホール(平成26年12月11日)									
(5)	検討委員会の設置	学識経験者で構成した検討委員会を設置、検討委員会開催(平成27年2月24日)									